



芦屋市谷崎潤一郎記念館



春の特別展関連イベント 落語会

暗闇に笑う～三つの闇の物語～

春の特別展「暗闇の谷崎潤一郎～闇を愛した文豪～」より暗闇に囚んだ落語三席をお届けします。あえて時代に逆らった三つの「贅沢な闇」。アマチュア落語家三人による楽しく笑える口演です。

内容紹介：

一、潜む闇

墨を流したような静寂。通りがかる獲物の足音を待ち、草むらに息を潜める師弟の滑稽な影が、深い陰翳（いんえい）のなかに蠢（うごめ）く。

一、手探りの闇

一寸先も見えぬ奥座敷。愛しき人を求めて彷徨う指先が、闇のなかで捉えた得体の知れぬモノ。陶酔の果てに何が得られるのか。

一、交叉する闇

人里遠き深山の孤独。夜の帳（とぼり）が降り積もるなかで、現（うつつ）と幻の境界が曖昧に溶けてゆく。この深い闇に迷い込んだ男の、数奇なる行く末は…



千里家 亜論

日 時：2026年 5月17日(日) 午後2時～3時

出演：社会人落語団体「午後の小唄」

「午後の小唄」は2012年に発足。大学落語研究会出身者で構成された社会人落語団体。関西一円においてアマチュア落語の公演を10年以上続けている。

◇櫻鶯亭 風来（おうおうてい ふうらい）

◇千里家 亜論（せんりや あろん）他

会場：芦屋市谷崎潤一郎記念館 ロビー

定員：40席(要申込)

料金：無料(要観覧料)

観覧料：一般600(480)円、大高生400(320)円、中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金

※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方、ならびにその介護の方1名は各当日料金の半額

※参加者の方の個人情報は個人情報保護法及び当館を運営する小学館集英社プロダクション共同の個人情報取り扱い方針に基づき厳重に管理し、適正に取り扱います



櫻鶯亭 風来

芦屋市谷崎潤一郎記念館

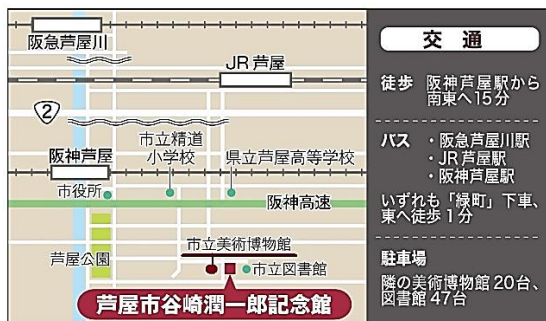
Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12の15

TEL 0797(23)5852 FAX 0797(38)3244

e-mail ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp

ホームページ <https://www.tanizakikan.com/>



交通

徒歩 阪神芦屋駅から南東へ15分

バス 阪急芦屋川駅

・JR芦屋駅

・阪神芦屋駅

いずれも「緑町」下車、東へ徒歩1分

駐車場

隣の美術博物館20台、

図書館47台